

初級日本語母語学習者における韓国漢字語彙教育 —漢字語彙を利用した教材の提案—

牧野 美希

アブストラクト

韓国語教育において、初級学習者の継続的な学習を促し、次の学習段階へとつなげていくことが今後の課題の一つとして挙げられる。そのためには学習者の目標言語に対する苦手意識を最小限に抑えることも効果的であると考える。本稿では韓国語学習者が苦手意識を持ちやすい語彙学習において日本語と韓国語の類似性を強調した教材を提案することで学習者の苦手意識を克服する手助けとすることを目的とする。この目的のために本稿では日韓で共通点の多い漢字語彙に注目した教材を提案した。本稿では主に教材に使用する資料の検討と作成を行った。教材は、ハングルを習得したばかりの初級学習者に対する負担を最小限にするため、先行研究で盛んに行われている日韓漢字語彙の音声的対応関係を利用した教育方案とは異なり、複雑な説明は極力行わないよう新聞記事や具体的な語彙の例を多く使用した教材の作成に努めた。

キーワード：韓国語教育、日本語母語話者、初級学習者、漢字語彙、語彙教育、モチベーション

1. はじめに

語彙は言語という建物を構成する最も基本的なレンガのような存在である (Brown, 2007)。しかし、語彙はこれまで単純な暗記を要求される場合が多く、それゆえ苦手意識を持っている学習者は少ない。

2002年のワールドカップ以降続く韓国のドラマ、音楽などの爆発的な人気から来る韓流ブームにより韓国語の学習者人口は年々増加傾向にあるが、そのほとんどが入門・初級の段階であり中・上級へと段階を進めていく学習者は依然として少ない。APUの例をとれば、全部で4段階ある韓国語クラスのうち初級にあたる韓国語Iクラスは5クラス開講されているのに対し、韓国語IIでは半分以下の2クラスに減少している。さらに韓国語III・IVはそれぞれ1クラスずつに留まっている。このようにいかに初級の学習者を中・上級へとあげていくかは今後の韓国語教育の課題の一つと言える。

韓国語を初めて学ぶ学習者にとって第一の壁はハングルである。ハングルという固有の文字を使用する韓国語においては、学習者が文字の段階でつまづく場合も実際の教育現場で見られる。それと同時に、不慣れた文字で表記される単語においても苦手意識を感じる学習者も少なからず見られる。また、語彙に苦手意識を持っている学生の多くは提示される単語を丸暗記しようとしている場合が多い。しかし単純な暗記は記憶の定着度が比較的低く、また苦痛の伴う学習法である。語彙学習に関する研究はこのような単純暗記に関して否定的な見解を示している (Gu & Johnson, 1996; Brown, 2007; Cook, 1991)。それが不慣れた文字の場合、単純な暗記はより困難であろう。

韓国語と日本語は他の言語に比べ多くの共通点を持っていることがこれまでの研究結果で指摘されている (召彦伸, 2003; 신용태, 1977; 1982; 1999; 사노, 2004; 우찬삼, 2007)。特に語彙に関しては、日本語も韓国語もその語彙体系の60~70%を漢字語彙が占めている (宮島, 1980; 許喆, 2010)。さらに韓国語の漢字音は基本的に音読ひとつのみでありその多くが日本語の音読みと対応している。日韓の漢字語彙の音韻的類似性を裏付ける研究として 신용태 (1977, 1982, 1999) が挙げられるが、신용태の研究によれば日本や韓国で用いられている漢字音はもともと中国から流入しており、それぞれの言語に定着する際に各言語の音韻体系に合わせ変化したものである。このような研究を背景に日韓漢字語彙の読み方の対応関係に関する研究も行われている (사노, 2004; 伊藤, 2007)。

Cook (1991) は、学習者は第2言語の空白を母語の知識で補うことができ、第2言語と母語が類似関係にある場合、より高い効果をもたらすと主張している。韓国語も表記は異なるが、元は日本語同様漢字に由来した語彙を多く使用しているという点を学習者に認識させることにより、韓国語の語彙に対して日本語の知識を反映させる方法を提示できるのではないだろうか。またそれが語彙学習に対する苦手意識を払拭するひとつのきっかけになるのではないだろうか。ま

た苦手意識を払拭することは学習に対するモチベーションの維持にも効果をもたらすことが期待できる。

このような背景から本稿では、韓国語初級学習者において語彙学習に対する苦手意識を解消する教育の方案を提示することを目的とする。特に日本語の語彙との共通点が多い漢字語彙に着目し、具体的な教材案を提示する。

2. 先行研究

2.1 語彙推測ストラテジーに基づいた韓国漢字語教育に関する研究

これまで韓国語教育における語彙学習に関する研究は活発に行われてきたが(문금현, 2003; 김수희, 2004; 박신영, 2007; 윤유선, 2007; 이영희, 2008; 박덕유, 2009; 원미진, 2010)、その大部分は語彙推測ストラテジー理論に基づき英語やフランス語などの非漢字語圏の学習者を対象として、学習者に漢字の知識を導入した場合の語彙学習に対する影響を実験を通じて検証するものであった。一方、中国や日本のような漢字語圏の学習者に関する研究は希少である。その中で日本人学習者を対象に行ったものとして 사노(2004)と伊藤(2007)の研究は興味深い。사노(2004)は日本語と韓国語の語彙を比較・分析し、日本語と韓国語の漢字語彙における音声的な対応関係を明らかにした上で、それらの対応関係を用いた語彙教育の方案を提示している。사노(2004)では新聞記事の漢字語彙を漢字表記に変換した教材を用いた授業を提案している。伊藤(2007)においても日本語と韓国語の漢字語彙における対応関係について言及した上で、日韓の漢字語彙を対応させる際学習者がまず覚えなければならない「最重要直し方規則」を提示している。사노(2004)、伊藤(2007)の両研究はこれまで看過されてきた漢字語圏学習者に対する漢字語彙教育の有用性について言及し、具体的な教育方案を提示した点で意義がある。しかし、提案された方案についての実際の効果に関しては検証されていない。

牧野・劉(2012)では사노(2004)、伊藤(2007)の研究を基盤とし、日本語母語学習者を対象に、韓国漢字語彙教育の教案及び教材を作成しその効果を実際に検証した。実験は中級の学習者を対象に行い、学習者を実験集団と対照集団に分け、それぞれの集団に対し週に1回、約90分の授業を4回行った。実験集団には韓国漢字語彙の対応関係に関する授業を行い、対照集団には漢字語彙に関する授業は行わず、読みと会話中心の授業を行った。また、授業と並行して韓国漢字語彙を推測するテストを行いその点数の推移を観察した。その結果、漢字語彙の授業を行った実験集団がそうでない対照集団よりも語彙テストの点数が向上するという結果が得られた。また、語彙テストと同時にを行ったナンセンスワードの推測の結果から、漢字語彙に関する知識が知らない単語を積極的に推測しようとする姿勢を生み出すことも明らかになった。このことから漢字語彙の知識を利用した語彙教育は、漢字語圏の学習者に対しても効果が見られることが明らかになった。しかし牧野(2012)の研究では、文字を覚えただけの初級学習者には漢字の対応関係という複雑な知識がむしろ学習に逆効果になるとの理由で実験対象から初級学習者を除外している。また、非漢字語圏の学習者に対して行われた先行研究も主に中級の学習者を対象としている。

3. 研究課題

前章では韓国語の漢字語彙学習に関する研究を検討し、語彙推測ストラテジーの養成の側面からこの方面の研究が盛んに行われてきた点、また、日本語母語話者学習者のような漢字の知識のある学習者に対してもその効果に関する研究が行われてきた点について言及した。先行研究の結果、ある程度語彙知識のある中級学習者にとっては、今後さらに語彙力を伸ばしていく意味で日韓漢字語彙の理論的な対応関係を学ぶ事は効果的であると考える。しかし、入門段階の学習者に対しては日韓漢字語彙の対応関係を理解するのは負担になる可能性がある。このことから初級の学習者に対しては日韓の漢字語彙の対応関係に関して理論的に理解させるよりも、漢字語彙の類似性を理解させることにより学習に対する苦手意識を取り除いてやることを目的とする教育方案を提示する方が効果的ではないかと考える。以上の点から本稿では初級学習者を対象にした教材を提案していくが、以下の点を中心的な目的として検討していく。

1. 韓国語の語はハングルで表記されているが、そのおよそ半数は漢字語彙であることを理解させる
2. 韓国語における漢字読みは音読しかなく、日本語の漢字語彙よりも学習しやすい点を理解させる
3. 理論的な説明を最小限にし、具体例を多く含んだ教材を提示する

4. 教案及び教材の作成

4.1 導入資料の作成

はじめに、韓国語においてどの位の漢字語彙が用いられているのかを具体的に提示することを目的とした導入資料の作成にとりかかった。この資料はサノ(2004)の研究で提示されている導入資料を参考に作成した。サノ(2004)は漢字語彙学習をいくつかの段階に分類しその方案を提示しているが、その導入としてハングルで表記された新聞記事と漢字語彙をハングルから漢字表記に変換した漢字・ハングル混合の記事を提示し、韓国語で漢字語彙が多く使用されている点を指摘している。本稿もこれにならい新聞記事を提示し、導入とする。本稿で今回使用した新聞記事は朝鮮日報が作成しているニュースサイトから抜粋したものを使用した。新聞記事のハングル表記と漢字・ハングル混合表記は次に示す資料1、2の通りである。

資料 1 導入に使用する新聞記事(ハングル表記)

박 당선인 “국민마음의 승리…약속 지키는 민생대통령 되겠다”

18 대 대통령 선거에서 당선된 박근혜 대통령 당선인은 19 일 “앞으로 국민께 드린 약속을 반드시 실천하는 민생대통령이 돼 여러분이 기대하는 새로운 시대를 열겠다” 고 말했다. 박 당선인은 서울 광화문광장 세종대왕 동상 앞에 설치된 특별무대에서 “이번 선거는 국민 여러분의 승리다. 위기를 극복하고, 경제를 살리려는 열망이 가져온 국민 마음의 승리” 라며 이같이 말했다. 박 당선인은 “선거 중에 크게 세가지를 약속 드렸다” 며 “민생대통령, 약속대통령, 국민대통합대통령, 그 약속을 반드시 지키겠다” 고 말했다. 박 당선인은 선거기간 중 가장 힘들었던 일에 대해서는 “선거 운동하는 중에 큰 사고가 났다” 며 “그래서 저를 돕던 소중한 분들을 떠나보내게 됐을 때 가장 힘들었다” 고 말했다.

資料 2 導入に使用する新聞記事(ハングル・漢字混合表記)

朴 当選人 “国民마음의 勝利…約束 지키는 民生大統領 되겠다”

18 代 大統領 選挙에서 当選된 朴槿惠 大統領 当選人은 19 日 “앞으로 国民께 드린 約束을 반드시 實踐하는 民生大統領이 돼 여러분이 期待하는 새로운 時代 열겠다” 고 말했다. 朴 当選人은 서울 光化門廣場 世宗大王 銅像 앞에 設置된 特別舞臺에서 “이번 選挙는 国民 여러분의 勝利다. 危機를 克服하고, 經濟를 살리려는 熱望이 가져온 国民 마음의 勝利” 라며 이같이 말했다. 朴 当選人은 “選挙 中에 크게 세가지를 約束 드렸다” 며 “民生大統領, 約束大統領, 國民大統合大統領, 그 約束을 반드시 지키겠다” 고 말했다. 朴 当選人은 選挙期間 中 가장 힘들었던 일에 대해서는 “選挙運動하는 中에 큰 事故가 났다” 며 “그래서 저를 돕던 所重한 분들을 떠나보내게 됐을 때 가장 힘들었다” 고 말했다.

資料に用いた記事全体の95単語のうち人名・地名を含む51単語が漢字語彙であった。これは全体の単語数のおよそ54%にあたる。このことから韓国語の語彙において漢字語彙が占める割合の大きさがうかがえる。

4.2 日韓漢字語彙の類似性を示す語彙例の選定

次に、具体例として提示する日本語と韓国語で類似した読み方をする漢字語彙を選定する。語彙の選定にあたっては、1.日本語と韓国語の漢字語彙が類似していることを強調できるもの、2.韓国語の漢字音は音読のみであり、例外を除き基本的にどの単語に用いられても日本語のように読み方が変化することがないという事を示せるもの、以上の2点に留意し選定した。語彙の選定には2005年に刊行された홍대식의『우리말로 日本語한자 쉽게 배우기』と2007年に刊行された尹聖媛・奉英娥の『【漢字でおぼえる】韓国語単語』の中に収録されている漢字の目録を参考にした。

4.2.1 日韓で読み方がほぼ一致する漢字

日本語と韓国語で漢字の読みがほぼ一致する漢字を次の表1のように抜粋した。尚、表中の例に挙げる単語は홍대식(2005)、尹聖媛・奉英娥(2007)とNAVERが運営する漢字辞典サイト『네이버 한자사전』で挙げられているものを引用した。

表1 日韓でほぼ同じ読み方の漢字

韓国語の漢字音	日本語の音読：漢字	例
악	アク：悪、握	악마(悪魔)、악수(握手)
안	アン：安、案	안심(安心)、고안(考案)
이	イ：異、以、移	차이(差異)、이내(以内)、이동(移動)
인	イン：印、因、引	조인(調印)、요인(要因)、인용(引用)
우	ウ：右、雨、宇、羽	좌우(左右)、우기(雨期)、우주(宇宙)、우모(羽毛)
운	ウン：運、雲	운반(運搬)、운무(雨霧)
옥	オク：屋	가옥(家屋)
억	オク：億、憶	억만(億万)、기억(記憶)
온	オン：温、穩	온도(温度)、평온(平穩)
가	カ：家、価、加、可、歌	가옥(家屋)、가치(価値)、가속(加速)、가능(可能) 가요(歌謡)
각	カク：各、角、覚、閣	각지(各地)、각도(角度)、미각(味覚)、각료(閣僚)
간	カン：間、刊、肝、幹、干、簡	기간(期間)、신간(新刊)、간요(肝要)、간부(幹部) 간섭(干涉)、간단(簡單)、
기	キ：気、機、器、記、期、基、紀、汽、起、祈、奇、寄 ギ：技	기온(気温)、기기(機器)、식기(食器)、기록(記録) 기간(期間)、기본(基本)、세기(世紀) 기차(汽車)、기소(起訴)、기도(祈禱)、기묘(奇妙) 寄与(기여)、특기(特技)
교	キョウ：教、橋	교육(教育)、
구	ク：区、句、九 グ：具	지구(地区)、문구(文句)、구관조(九官鳥) 기구(器具)
군	クン：君 グン：軍、群、郡	군주(君主) 군대(軍隊)、군중(群衆)、군(郡)
고	コ：庫、故、古、固 コウ：高、考	금고(金庫)、고의(故意)、고대(古代)、고유(固有) 고속(高速)、고안(考案)

사	サ：査、砂、唆	조사(調査)、사막(砂漠)、시사(示唆)
삼	サン：三	삼각(三角)
산	サン：山、算、酸、産、散	산림(山林)、산수(算數)、산소(酸素)、 부동산(不動産)、산만(散漫)
잔	ザン：殘	잔혹(殘酷)
씨	シ：氏	씨족(氏族)
시	シ：市、詩、視、試、始、示	시민(市民)、시(詩)、시력(視力)、시안(試案) 시동(始動)、지시(指示)、
치	チ：治、値、置	치료(治療)、가치(価値)、위치(位置)
지	チ：地、知、池 ジ：持、	토지(土地)、무지(無知)、건전지(乾電池) 지론(持論)
주	チュウ：注、昼、柱、宙 ジュウ：住	주의(注意)、주야(晝夜)、지주(支柱)、우주(宇宙) 주민(住民)
준	ジュン：準	준비(準備)
조	ジョ：助 초우：朝、兆、調、潮	조수(助手) 조간(朝刊)、전조(前兆)、조사(調査)、만조(滿潮)
심	シン：心、審、	관심(感心)、심판(審判)
신	シン：新、信、神、臣、紳、 身、申	신부(新婦)、신용(信用)、신비(神秘)、가신(家臣) 신사(紳士)、신분(身分)、신고(申告)
수	스ウ：數	산수(算數)
세	세：世 세이：勢	세기(世紀) 세력(勢力)
소	소：素 소우：巢	요소(要素) 란소(卵巢)
속	소크：束、速 조크：統、屬、俗	속박(束縛)、고속(高速) 계속(繼續)、소속(所屬)、민족(民族)
손	손：損、孫	파손(破損)、자손(子孫)
다	타：多	다수(多數)
타	타：他 타：打、妥	타의(他意) 타진(打診)、타협(妥協)
단	단：單、短 단：團、段、斷、旦	간단(簡單)、단기(短期) 단지(團地)、수단(手段) 판단(判斷), 일단(一旦)
탄	탄：誕、炭 단：彈	탄생(誕生)、탄산(炭酸) 폭탄(爆彈)
담	담：担、 단：談	부담(負擔) 상담(相談)
탐	탐：探	탐구(探求)
착	착：着	도착(到着)
저	저：貯、著	저축(貯蓄)、저자(著者)

도	ト：徒、都、 ド：度、道、導 トウ：刀、島	도보(徒步)、도시(都市) 온도(溫度)、도로(道路)、인도(引導) 단도(短刀)、반도(半島)
토	ト：討 ド：土	토론(討論) 토기(土器)
덕	トク：德	도덕(道德)
독	ドク：獨、毒、讀	독단(獨斷)、유독(有毒)、독서(讀書)
남	ナン：南、男	남북(南北)、장남(長男)
난	ナン：難、軟	난민(難民) 유난(柔軟)
비	ヒ：秘 ビ：備、鼻	신비(神秘) 준비(準備)、비음(鼻音)
부	フ：婦、父	신부(新婦)、신부(神父)
분	ブン：分	분신(分身)
보	ボ：步、保	진보(進歩)、안보리(安保理)
본	ボン：本	근본(根本)
목	モク：木	목조(木造)
만	マン：万、滿	만능(万能)、만족(滿足)
미	ミ：味、未	미각(味覺)、미만(未滿)
민	ミン：民	시민(市民)
무	ム：無、務	무리(無理)、근무(勤務)
모	モ：模 모우：毛	모양(模樣) 모발(毛髮)
약	ヤク：約、藥	약속(約束)、의약(醫藥)
유	ユ：油、由 ユウ：有、遊	석유(石油)、이유(理由) 유료(有料)、유람(遊覽)
요	ヨウ：要、曜	요약(要約)、요일(曜日)
욕	ヨク：浴、欲	욕조(浴槽)、욕구(欲求)
락	ラク：落	추락(墜落)
란	ラン：卵、亂	산란(産卵)、곤란(混亂)
람	ラン：覽	관람(觀覽)
리	リ：利、理、裏	유리(有利)、도리(道理)、표리(表裏)
략	リャク：略	생략(省略)
류	リュウ：流、留	조류(潮流)、보류(保留)
료	リョウ：料	무료(無料)
력	リョク：力	유력(有力)
림	リン：林	삼림(森林)
로	ロ：路	도로(道路)
록	ロク：録	기록(記錄)
론	ロン：論	이론(理論)

日韓で漢字音がほぼ一致する漢字の選定においては、次のような基準を設定した。まず韓国語の漢字音「ㄱ」は日本語の「ザン」と対応しており、厳密に言えば異なる音と区別されるが、韓国語の音韻体系上「ザン」と一致する発音が無いため本稿ではこれを同一の読み方として分類した。また、パッチム「ㄴ, ㄹ」は日本語では「ン」として認識されるためこれらのパッチム「ㄴ, ㄹ」(란, 램等)が「ン」と表記される場合は日本語と同じ漢字音として扱った。これと同様に韓国語の母音「오, 어」や「요, 여」は日本語では区別されず「オ」、「ヨ」で表記されるため本稿ではこれら二つを区別せずそれぞれ日本語の「オ」、「ヨ」に対応させた。さらにパッチム「ㅇ」は日本語に完全に一致する音がないが、日本語の「ク」と対応している場合は同じ漢字音として扱った。また、例に挙げた語彙の中には日本語と韓国語の読みが完全に一致していないものも含まれるが、該当の漢字が用いられている例として表に挙げた。最後に日本語の「ラ行」に対応する韓国語の漢字音(란, 램, 렉等)は、語頭に来る場合母音に変化するが、本稿では語中に来る場合を例として挙げ、同一の漢字音として扱った。

以上のような基準で選定した漢字音は合わせて76種で日本語の漢字は198字、そのうち単語として日韓の読みが一致するものは111単語であった。続く章では本章で選定した漢字語彙をもとに実際の教材を提案したい。

5. 教材案の作成

前章までの内容をふまえ、本章では実際に韓国語初級学習者に対する漢字語彙教育の教材案の作成を試みた。教材案は初級でハングルの導入が終了した学生を対象に作成した。

教材案は大きく分けて3つのセクションに分けられる。はじめに、導入のセクションでは資料1、2の新聞記事を提示し、韓国語はハングルで表記されているが実際は日本語と同様、漢字由来の単語が多く用いられている点と漢字語彙を理解すると韓国語の文章が読みやすくなる点を理解させることを目的とした。続く例示のセクションでは韓国漢字語彙の中にも日本語とほとんど同じ読み方をする単語が多く用いられている事を語彙リストを提示しながら説明し、韓国語に親近感をもってもらえるような資料作成に努めた。最後に、韓国語の漢字音は音読ひとつのみである点を説明するため漢字語彙を利用した練習のセクションを設けた。練習のセクションでは韓国語の漢字読みに関する簡単な説明を提示したあと、実際に日本語の漢字語彙を韓国語に変換する問題をいくつか作成した。実際の教材案は次頁の資料3に示す通りである。

6. おわりに

本稿では韓国語初級において日本語母語話者を対象とした語彙教育の教材案を提案する事を目的とし、教材に使用する資料を検討してきた。教材案は、初級の学生を対象とした為、これまで先行研究で行われてきたような日韓漢字語彙の音声的対応関係に関する具体的な説明は省略し、韓国語の語彙体系の中に占める漢字語彙の割合と日本語との関連性に焦点をあてた教材作りを行った。また、文章や単語などの例を多く挙げることによって難しい説明を回避し、学習者の負担を軽減することに努めた。しかし本稿で提案した教材はあくまで試案の段階であるため、今後学生の反応や理解度、関心事などをふまえ改善していく必要がある。また、APUでは非日本語母語話者も同じ教室で韓国語を学ぶため、そのような学生たちに対してもこの教材案が効果的であるかどうかについても今後検討していく必要があると考える。またこのような日韓漢字語彙の対応関係についてさらに分析を進め、品詞における漢字語彙の分布やその特徴などをまとめることでより詳細な語彙リストを作成していくことにも今後取り組んでいきたい。

資料3 日韓漢字語彙教育の教材案



ハングルは覚えただけ次は単語を覚えなくちゃ・・・!ちょっと気が遠くなりますよね。
 単語は一つ一つ覚えるのが大変というイメージですが、実は韓国語と日本語は単語もとてもよく似ているのでコツをつかめば比較的簡単に覚えられます。日韓の単語で特によく似ているのが「漢字語彙」。漢字語彙とは漢字が由来になっている単語のことを言います。今でこそほとんどの文章をハングルだけで書いている韓国ですが、昔は漢字語彙は漢字で表記していました。まずは実際に韓国語にどれ位漢字語彙があるか、新聞記事でみてみましょう。

資料1 ハングル表記の新聞記事

박 당선인 "국민마음의 승리...약속 지키는 민생대통령 되겠다"

18대 대통령 선거에서 당선된 박근혜 대통령 당선인은 19일 “앞으로 국민께 드린 약속을 반드시 실천하는 민생대통령이 돼 여러분이 기대하는 새로운 시대를 열겠다”고 말했다. 박 당선인은 서울 광화문광장 세종대왕 동상 앞에 설치된 특별무대에서 “이번 선거는 국민 여러분의 승리다. 위기를 극복하고, 경제를 살리려는 열망이 가져온 국민 마음의 승리”라며 이같이 말했다. 박 당선인은 “선거 중에 크게 세가지를 약속 드렸다”며 “민생대통령, 약속대통령, 국민대통합대통령, 그 약속을 반드시 지키겠다”고 말했다. 박 당선인은 선거기간 중 가장 힘들었던 일에 대해서는 “선거 운동하는 중에 큰 사고가 났다”며 “그래서 저를 돕던 소중한 분들을 떠나보내게 됐을 때 가장 힘들었다”고 말했다.

上の文章は朝鮮日報で掲載された実際の記事の一部です。おそらく何を書いているのかさっぱり、という人がほとんどだと思います。では、次の文章はどうでしょう。

資料2 漢字語彙を漢字表記に直した新聞記事

朴 当選人 "국민마음의 勝利...約束 지키는 民生大統領 되겠다"

18대 大統領 選挙에서 当選人 朴槿惠 大統領 当選人은 19日 “앞으로 国民께 드린 約束을 반드시 实践하는 民生大統領이 돼 여러분이 期待하는 새로운 時代 열겠다”고 말했다. 朴 当選人은 서울 光化門広場 世宗大王 銅像 앞에 設置된 特別舞台上에서 “이번 選挙는 国民 여러분의 勝利다. 危機를 克服하고, 經濟를 살리려는 熱望이 가져온 国民 마음의 勝利”라며 이같이 말했다. 朴 当選人은 “選挙 中에 크게 세가지를 約束 드렸다”며 “民生大統領, 約束大統領, 国民大統合大統領, 그 約束을 반드시 지키겠다”고 말했다. 朴 当選人은 選挙期間 中 가장 힘들었던 일에 대해서는 “選挙運動하는 中에 큰 事故가 났다”며 “그래서 저를 돕던 所重한 분들을 떠나보내게 됐을 때 가장 힘들었다”고 말했다.

いかがでしょうか。この新聞記事を例に取るなら文章全体の54%が漢字由来の漢字語彙です。これなら詳しい内容はわからなくても、この記事がどんなトピックなのかはわかりそうですね。

韓国語でも日本語のように漢字語彙が多く使われていることはわかりました。では、実際に漢字語彙が日本語を話す私たちにどのように有利なのかを紹介していきましょう。

①日本語とほとんど同じ読み方の単語が意外と多い

無料(무료)や満足(만족)など、日本語と韓国語で同じ発音をするものはいくつか聞いたことがあるかもしれませんが、そのほとんどが実は漢字語彙なんです。今回は日本語と韓国語でほとんど同じ読み方をする単語を集めました。

資料3 日本語と韓国語でほぼ同じ読み方をするもの

안심(安心)	고안(考案)	조인(調印)	신비(神秘)
요인(要因)	우기(雨期)	우주(宇宙)	가신(家臣)
우모(羽毛)	운반(運搬)	운무(雨霧)	세력(勢力)
가옥(家屋)	악마(悪魔)	억만(億万)	요소(要素)
기억(記憶)	온도(温度)	가치(価値)	란소(卵巢)
가속(加速)	가요(歌謠)	각지(各地)	속박(束縛)
각도(角度)	미각(味覚)	간부(幹部)	계속(継続)
간단(簡単)	각료(閣僚)	기간(期間)	민족(民族)
신간(新刊)	간요(肝要)	기온(気温)	다수(多数)
기기(機器)	기록(記録)	세기(世紀)	타의(他意)
기소(起訴)	기도(祈禱)	기묘(奇妙)	단기(短期)
寄与(기여)	지구(地区)	기구(器具)	도착(到着)
군(郡)	고의(故意)	고유(固有)	인도(引導)
고속(高速)	고안(考案)	조사(調査)	도덕(道德)
시사(示唆)	삼각(三角)	산수(算数)	분신(分身)
산소(酸素)	산만(散漫)	씨족(氏族)	만조(満潮)
시민(市民)	시(詩)	시력(視力)	신부(新婦)
시안(試案)	치료(治療)	위치(位置)	부담(負担)
토지(土地)	무지(無知)	지론(持論)	도로(道路)
주의(注意)	주야(昼夜)	주민(住民)	토기(土器)
준비(準備)	조간(朝刊)	난민(難民)	심판(審判)
관심(關心)	탄산(炭酸)	토론(討論)	단도(短刀)
단지(団地)	온도(温度)	유독(有毒)	독단(独断)
도시(都市)	안보리(安保理)	목조(木造)	만족(満足)

미만(未滿)	무리(無理)	약속(約束)	의약(医薬)
이유(理由)	유료(有料)	유람(遊覽)	요약(要約)
욕조(浴槽)	산란(産卵)	근란(混乱)	관람(觀覽)
유리(有利)	도리(道理)	조류(潮流)	무료(無料)
유력(有力)			

ここに挙げた単語だけでも100個以上が日本語とほとんど同じ読み方のもので、これを覚えておくだけでもかなりの数になりますよね。たとえば上にある単語を組み合わせ、「高速道路(고속도로)」や「木造家屋(목조 가옥)」のような単語も作ることができます。さらに、韓国語の漢字語彙の特徴は他にもあります。

②韓国語の漢字の読み方は基本的に音読の一種類だけ!

日本語は一つの漢字に複数の読み方があります。例えば「身」は「身分^{みぶん}、分身^{ぶんしん}」のように単語によって読み方が変化します。しかし、韓国語は「身分(신분)、分身(분신)」のように単語に関わらず基本的に同じ読み方をします(いくつかの例外はありますが)。なので、一度出てきた漢字の読み方はどこに使われても同じなので、どの漢字がどの読み方をするのかを頭にとどめておけば、新しい単語がでてきても簡単に意味を推測することができるようになります。その反対に日本語の単語を韓国語に変換するときもこの知識が役に立つんです。実際にいくつか例を挙げて練習してみましょう!

練習:日本語の単語を韓国語に直してみましょう!

- ① 三角 (삼각)、温度 (온도) → では、角度は? 答え: _____
- ② 事件 (사건)、無理(무리) → では、無事は? 答え: _____
- ③ 時間 (시간)、日本人(일본인) →では、人間は? 答え: _____

どうですか、解けましたか? このように日本語と韓国語は、文字は違っても同じ漢字由来の単語が沢山あります。皆さんがもっている日本語の知識を活用して楽に韓国語の単語を攻略していきましょう!

参考文献

- Brown H. D. (2007). Principles of Language Learning and Teaching, 5th edition, Person Education Inc.
- Cook V. (1991). Second language learning and language teaching, E. A. Ltd.
- Gu Y., R. K. Johnson (1996). Vocabulary learning strategies and language learning outcomes, Language Learning, 46(4), 643-679
- 伊藤英人(2007)「漢字音教育法」野間秀樹(編著)(2007)『韓国語教育論講座』、575-608
- 辛容泰(1982)「韓国漢字音の母胎に関する考察」『人文科学研究』第1集、1-33
- 宮島達夫(1986)『歴史的仮名遣い』中央公論社
- 尹聖媛、奉英娥(2007)『【漢字でおぼえる】韓国語単語』国際語学社
- 김수희(2004)「중국인 초급 학습자를 위한 어휘 교육. 기본어휘에 나타난 한자어휘를 중심으로」『외국어로서의 한국어 교육』29, 65-86
- 김효선(2003)「일본어「一字漢字語+する」와 한국어「一字漢字語+하다」의 양국어로의 대응관계 관한 고찰」『日本語教育』第25輯、129-146
- 牧野美希, 劉錫勳(2012)「일본인 한국어 학습자를 위한 한국어 한자어휘 교육 연구 -한일 한자음 대응관계를 이용하여-」『日本近代學研究』第38輯、79-96
- 문금현(2003)「한국어 어휘 교육을 위한 한자어휘 학습 방안」、『이중언어학회』제23호、13-35
- 박덕유(2009)「외국인 학습자를 위한 어휘력 신장 연구. 한국어 漢字 및 漢字語를 중심으로」『언어와 문화』vol.5 No.1、85-103
- 박신영(2007)「고급 한국어 학습자의 어휘 처리의 추론 전략에 대한 연구」선문대학교 석사학위논문
- 사노 데루아키(2004)「일본인 학습자를 위한 한국어 한자 교육 방안 연구」선문대학교 석사학위논문
- 신용태(1977)「한일 한자음 비교 연구(개설):일한 한자음을 쉽게 읽기 위한 방법을 중심으로」『논문집』vol.5、49-79
- 신용태(1999)「15(16)세기 한국 한자음과 일본 한자음의 비교 연구. 훈몽자음을 중심으로」『논문집』제6집、327-351
- 우찬삼(2007)「韓日漢字音의 받침과 日本漢字音과의 比較:日本語 漢字 教育의觀點에서」『日本語教育』第42輯、31-54
- 원미진(2010)「한국어 학습자의 어휘 학습 전략에 관한 연구」『한국사전학』제15호、194-218
- 윤유선(2007)「어휘 학습 전략 훈련을 통한 한국어 학습자의 한자어휘 학습 효과」이화여자대학교 석사학위논문
- 이영희(2008)「외국인을 위한 한자어휘 교육 연구」숙명여자대학교 박사학위논문
- 홍대식(2005)『우리말로 日本語한자 쉽게 배우기』교학사
- 朝鮮日報、Chosun.com、http://news.chosun.com/index.html?gmb_logo、2012/12/20
- NAVER、네이버 한자사전、<http://hanja.naver.com/>、2012/1/5

アブストラクト

日本語教育では、音声学習を始めたり、継続したり、振り返ってさらに続けたりしようとする機会に乏しく、学習者に等しく音声学習の機会を提供できる状況ではない。また、発音指導の中で、アクセントやイントネーションといったプロソディは、単音に比べ、指導が行われにくいようである。そこで、こういった状況を改善すべく、音声教育における動機づけストラテジー開発の方向性について示唆を得るために、体系的に発音指導を受けていない留学生を対象にアクセント・イントネーション学習に対する意識について調査・分析を行った。調査の結果をもとに因子分析を行った結果、5 因子（「規範との差」「学習の重要性」「学習の妨げ」「教師の支援」「周囲の消極性」）が抽出された。その後、因子得点をもとに行ったクラスター分析から、学習者の動機づけに関して「自己・周囲消極型」「自己積極・重要性欠如型」「自己・周囲積極型」「重要性認識型」という 4 つの学習者タイプが見出された。ここから、個々の学習者の学習に対する興味を喚起し、学習に沿った学習者信念を養成しつつ積極的な学習者集団を形成していくこと、そして、学習の重要性の認識を強化できるような仕組みを作ることが必要だという方向性が導かれた。

キーワード：音声教育、アクセント、イントネーション、動機づけ、興味、信念、価値観

1. はじめに

大学の学部に入學し、日本語で開講されている授業を履修する日本語学習者は、相応の日本語力を保持しなければ、大学での教育を日本語で受けることができない。そのため、おおむね一定レベル以上の日本語力を持つ学習者であるはずである。しかし、彼らの音声の習得に目を向けると、筆者の経験では学習者間で大きなばらつきがあることが多い。もちろん、個々の能力差は認めるが、日本語の文法や語彙といった表現の知識の習得と比べると、音声の習得ではばらつきが大きいと感じる。

一方で、教える側に目を向けてみると、「音声学に対する苦手意識」（嵐・中川・田川 2012）を感じていることも多いようである。例えば、「発音クリニック」という表現を時折目にするところがあるが、「文法クリニック」「会話クリニック」といった表現は少数派のようである¹。このような表現の使われ方から、（やや極端ではあるが）音声指導は医者のように、言語教育とは異なる専門性によって行われるべきであるという意識も感じる。

このように、学習する側と教える側に目を向けてみると、日本語教育としての音声教育は、まだまだできることがたくさんある。確かに、ある程度の音声学的な知識は指導に不可欠ではあるが、教育学的な側面からのサポートも重要であると考えられる。つまり、音声の知識を指導に生かせるような方略、音声学の知識と学習者の習得との橋渡しの部分をさらに発展させていかなければならない。

このような問題意識の中、筆者は音声学習の動機づけに着目し、目下、実践や調査・研究を続けている（須藤 2009、須藤 2013）。これは学習開始段階の動機づけを高めるだけではなく、その後の学習プロセスにおいても動機づけが高い状態が維持でき、最終的には音声学習が自律的に続けられるようなストラテジーの開発を目標としている。本稿では、その調査の1つとして、いわゆる発音の授業を受けていない日本語学習者が、アクセント・イントネーション学習に対してどのような意識を持っているかを調査する。そこから、学習者の動機づけのタイプを抽出し、動機づけの方向性について議論する。

¹ 一つの手掛かりとして、Google のウェブ検索で、引用符付きで“発音クリニック”と検索したところ、約 20,900 件、同じく“文法クリニック”が約 225 件、“会話クリニック”が約 54 件（2013 年 1 月 11 日検索）という結果であった。